

あやめ “花いっぱい”

プロジェクト

No. 006 中央コミセン あやめ“花いっぱい”プロジェクト通信 2021年7月

Thank you!

中央コミセン あやめ“花いっぱい”プロジェクトは、地域の多くの方にご協力をいただいています。昨年の株分けからご協力いただいている方と今年の春から苗を育てていただいている方を合わせて、その数は約70名！6月には市街地を中心に、通り沿いやお庭などでオーナーのみなさまが可憐なあやめ（長井古種）をきれいに咲かせてくれました。協力の輪は学校にも広がり、長井小学校、長井南中学校、長井北中学校でも育てていただいています。オーナーのみなさまのあやめは中央コミセンのSNSでも紹介していますので、ぜひご覧ください。

あやめは多年草。プロジェクトの鉢は、来年も花を咲かせます。長井の花「あやめ」への愛着を深め、地域を盛り上げていきましょう！引き続きご協力をお願いします。



Instagram



Facebook

来年もきれいに咲かせましょう！

～あやめ公園の今野専門員にお聞きしました

あやめの花が終わったらどうすればいいの？

栄養が行く茎を切る



花が終わったら、花が咲いていた部分に種ができます。種に栄養が行くことで株の元気がなくなってしまうように、花が咲いていた茎を切ってください。鉢にはお礼肥（おれいごえ）として肥料を与えます。

〈こんな手順です！〉

① 花のついていた茎をカットします！ 種ではなく、葉に栄養が行くようにします

② お礼肥（おれいごえ）として肥料を与えます。

肥料は緩効性肥料（チッ素 10：リン酸 10：カリ 12 の割合で含まれる肥料。商品名：ニューフラワーなど）が適しています。プロジェクトの鉢（8号鉢）なら、4株植えの場合は7g、1株植えの場合は3g弱を根元に与えてください。

③ 乾燥したら水をたっぷり！

葉が青々と茂るように、乾燥したら水を与えてください。もしも、葉が黄色っぽくなってきた場合は、園芸用の液肥を与えてください。

④ 来年の開花に向けて秋に肥料を！

お盆過ぎて涼しくなったら花卉（かき）肥料や油かすを与えて養分を蓄えさせ、来年の開花に備えましょう。あやめ公園では、このほか11月に完熟の牛ふん堆肥を与えているそうです。

株分けは3年に1度が目安！
今年の鉢はまだ大丈夫です！

